

令和元年度文化財研修講座

文化財課

平成30年度の文化財研修講座を終えて

昨年度、文化財課では、明治維新150周年の年に、県内の教職員や県民を対象として、「文化財保護行政」や「明治維新」をテーマにした文化財研修講座（講義・講演）を開催しました。

講義では、文化財課指定文化財係から「本県の文化財保護行政について」説明しました。

講演では、鹿児島純心女子大学の小島摩文教授に、県が平成27～29年度に実施した「かごしまの祭り・行事調査事業」の結果を踏まえ、本県の無形民俗文化財の現状等について講演していただきました。また、尚古集成館の松尾千歳館長に、「薩摩藩と幕末・明治維新」と題して、明治維新に関わりのある鹿児島県の偉人、文化財及び薩摩が果たした役割等について講演していただきました。

- ・ 一日かけてじっくりお聞きしたい内容でした。とても楽しかったです。
- ・ 社会科教員として、赴任した地域の文化財を子どもたちと一緒に学びたいというも思っております。大変楽しい講座でした。
- ・ 貴重な機会をありがとうございました。毎年参加したいです。
- ・ 世界から見た明治維新という認識が変わりました。
- ・ このような研修講座を催していただいととても嬉しく思います。とても素晴らしい勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

【受講者のアンケートから】



文化財課職員による講義の様子



小島氏の講演の様子

「文化財研修講座」の開催

日 時 令和元年8月6日（火）
午後1時～午後4時30分
（受付：午後0時30分から）

講座内容

- 講演1 「城山の地形地質と鶴丸城」
鹿児島大学名誉教授 大木公彦 氏
- 紹介 「鶴丸城御楼門建設の現況について」
楼門等建設推進室職員
- 講演2 「日本遺産に認定された武家屋敷群「麓」について」
NPO法人まちづくり地域フォーラム
・かごしま探検の会
代表理事 東川隆太郎 氏

※ 「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」の日本遺産認定を受けて、そのストーリーに含まれる鶴丸城や、県内各地の「麓」の魅力についての講演となります。

場 所 鹿児島県歴史資料センター黎明館講堂
定 員 200人
参 加 料 無料

※ 上記講座等の日程・申込等の詳細については、後日、県ホームページ（ホーム > 教育・文化・交流 > 文化・スポーツ > 文化財 > 文化財研修講座 >）にアップする予定です。

<お問合せ>

鹿児島県教育庁文化財課指定文化財係
TEL:099-286-5355 FAX:099-286-5675
MAIL:siteibun@pref.kagoshima.lg.jp

